

コウノトリこどもフォーラム

目 的：50年ぶりのヒナ誕生を記念し、自然環境の保全再生についての県民機運を高めるフォーラムを開催する。

日 時：平成26年8月17日（日）11：30～16：00

主 催：福井県（協力 越前市、小浜市、兵庫県豊岡市）

会 場：サンドーム福井 小ホール

内 容：

○コウノトリこどもフォーラム（13：00～15：30）

（1）これまでの経過と現況報告（ヒナの性別発表と愛称募集を含む）

（2）お話 「小さな生き物からコウノトリまで（仮題）」

講演者 田畑直樹（公財）東京動物園協会葛西臨海水族園園長

（3）コウノトリをきっかけに活動に取り組む子どもたち（小学生）の発表
越前市白山・坂口地区、小浜市国富地区、兵庫県豊岡市（予定）

（4）夏休み 身近な生き物こども相談室

発表した子どもたち・会場の子どもたちからの質問・回答

回答者 多田自然保護センター所長 ほか

○同時開催イベント

（1）里の恵みブース（11：30～14：00）

- ・白山ブランドの野菜の販売（スイカ、ハウレンソウなど）
- ・里山弁当、里の恵みの配布（おにぎり、漬物、郷土料理）

（2）親子体験・学習ブース（11：30～16：00）

- ・工作体験コーナー（コウノトリ凧の製作など）
- ・生き物ふれあいコーナー
（ドジョウ、フナなど身近な生き物に触れることができる水槽やプール）
- ・ふるさと自然魅力発見コーナー
（里山里海湖研究所、年縞、希少な生き物などの説明パネル）

「福井ふるさと学びの森」初回イベント「みんなで作ろう！森の遊び場」

日 時：7月26日（土）9：30～12：00

場 所：福井ふるさと学びの森（若狭町気山）

講 師：里山里海湖研究所研究員 福島空ほか

内 容：参加者のアイディアで森に遊び場を作る。その後、若狭町で採れた梅でおやつを作る。

参加費：50円（保険料）

定 員：20名（小学生以上）

日独SATOYAMA研究フォーラム

(主催) 福井県

(共催) ドイツ学術交流会・日本学術会議環境学委員会自然環境保全再生分科会

平成26年8月30日(土)

○日独研究者による現地視察

- 1) 時間: 10:00~11:30
- 2) 場所: 三方五湖
- 3) 内容: ラムサール条約湿地の保全再生について、三方五湖の自然再生団体と意見交換

○日独研究成果発表会「日本学術会議公開講演会」(県民対象)

- 1) 時間: 13:30~16:30
- 2) 場所: 三方青年の家 ホール
- 3) 参加者: 100名(県民)
- 4) 内容: 日本学術会議公開講演会
 - ・「ドイツのSATOYAMAの生物多様性・生態系サービス研究」
シュテファン・ホーテス(Dtefan Hotes)(マールブルク大学)
 - ・「三方五湖の生物多様性・生態系サービスと自然再生」
吉田丈人(東京大学)
 - ・「ヨーロッパの生態系インフラストラクチャー」
一ノ瀬友博(慶應義塾大学)
 - ・意見交換会(里山里海湖研究所研究員の抱負を含む)
司会: 鷲谷いづみ(福井県里山里海湖研究アドバイザー)

1
日
目

平成26年8月31日(日)

○日独研究者による現地視察

- 1) 時間: 10:30~11:30
- 2) 場所: 越前市白山坂口地区
- 3) 内容: コウノトリの野生復帰に向けた自然再生の取り組みについて現地視察と地元の自然再生団体と意見交換

○日独研究成果発表会(研究者対象・英語のみ)

- 1) 時間: 13:30~18:00
- 2) 場所: 福井県国際交流会館 特別会議室
- 3) 参加者: 50名(研究者)
- 4) 内容: ドイツ研究者と里山里海湖研究所研究員等を交えた里山里海湖の生物多様性の保全、再生、活用に関する研究成果発表会

2
日
目